

立命館大学大学院

大学教員準備セミナー

Preparing Future Faculty (PFF)

2018 年度募集要項

お問合せ先

立命館大学大学院課（衣笠）

TEL 075-465-8195

Mail l-hba@st.ritsumeai.ac.jp

プログラム概要

Preparing Future Faculty（以下、PFF）では、大学教員を目指す博士課程後期課程大学院生、専門研究員ならびに研修生・研究生を対象に大学で教えるために必要な基礎的スキルを養成します。大学における教育は、決められた時間の中で、何をどのように教え、またそれらが定着したかどうかを適正に評価することが求められます。学生の学びの質を高めるのは、教員の教え方や方法に依存します。近年では、学びを促進するための一教育方法として、アクティブラーニングの手法にも注目が集まっているなど、授業の構成要因は様々です。教育方法に限らず、シラバスの段階で綿密な授業設計を練り、授業毎に適切な到達目標を設定すること、そして到達目標に沿った評価軸が求められます。これらの知識や技術は、一長一短で身につくものではないため、教員として着任する以前からそのスキルを伸ばすことが重要です。また、公募応募時などにも簡易シラバスの提出や模擬授業の実施が求められることが多くなってきており、研究業績に加えて就職時にも大きな武器となるでしょう。多くの人が参加することで、お互いを切磋琢磨する貴重な機会にもなりえます。少しでも興味を持った方は是非受講をおすすめします。

到達目標

- ・ 大学教員の役割や仕事内容を理解し、大学教員に求められる能力を実践的に学ぶ。
- ・ 高等教育全体を省察する。
- ・ 自身とは異なる分野の研究を知る。

使用言語

日本語

プログラムコーディネーター

共通教育推進機構 原木 万紀子

受講対象者

将来の進路として大学教員を希望している以下の者を対象とする。専門分野は問わない。

- ・ 本学大学院に在籍する大学院生
- ・ 研修生および研究生 ・ 専門研究員 ・ 日本学術振興会特別研究員 DC, PD 採択者

申し込み方法

募集期間：2018年4月24日（火）～2018年6月8日（金） 17:00 まで

応募方法：下記 URL より申し込みしてください。

URL：http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/program/list/article.html?id=136

参加定員

20 名

<プログラムスケジュール>

4月24日（火）～	募集広報開始
4月24日（火）～6月8日（金）	参加申込受付期間
6月13日（水）12:20-13:00	オリエンテーション 会場：衣笠キャンパス究論館プレゼンテーションルーム A
6月18日（月）～7月13日（金）	授業見学会
6月18日（月）～7月22日（日）	VOD（Video On Demand）受講
7月23日（月）13:00-19:05	ワークショップ（2日間開催）
7月25日（水）13:00-17:40	会場：衣笠キャンパス究論館プレゼンテーションルーム A

プログラム内容

1. オリエンテーション

参加者の顔合わせ（自己紹介）、プログラム内容の詳細の説明

日時：6月13日（水）12:20～13:00

会場：衣笠キャンパス 究論館1階 プレゼンテーションルーム

2. VOD (Video On Demand)

manaba+Rより、様々な映像コンテンツを視聴することができます。ワークショップの前に下記の2つを視聴してください。視聴方法などの詳細についてはオリエンテーションの際に説明します。

【VOD】

	テーマ	到達目標	実践的FD 対応コンテンツ	講師
1	現代の高等教育	<ul style="list-style-type: none">・日本及び世界の高等教育の状況を説明できる。（知識）・自らの大学の置かれた立場と今後の対応を考えることができる。（知識）	VOD「高等教育論Ⅰ」	金子 元久
2	大学におけるミクロ・マクロレベルでのFD活動	<ul style="list-style-type: none">・大学におけるミクロレベル（授業・教授法の開発）のFD活動の事例を説明できる。（知識）・大学におけるミドルレベル（カリキュラムやプログラム開発）のFD活動の事例を説明できる。（知識）・自らの大学におけるミクロ・ミドルレベルのFD活動を批評できる。（知識）・自らの大学におけるミクロ・ミドルレベルのFD活動を積極的に改善・推進しようとする意欲を持つ。（態度）	VOD「FD概論Ⅰ」	佐藤 浩章

3. 授業見学会

本学教育開発推進機構の先生方が担当する授業を見学します。オンデマンド講義の受講と並行して授業見学を行うことで、教員がオンデマンド講義の内容をどのように実践しているかを確認し、理解を深め

てください。授業見学会の対象授業については、オリエンテーションの際に発表します。なお、事前の申し込みは不要ですが、当日、授業前にご担当の先生には挨拶と授業見学の旨を伝えてください。

4. ワークショップ

日時：7/23(月)13:00-19:05、7/25(水)13:00-17:40

会場：衣笠キャンパス 究論館1階 プレゼンテーションルーム

【プログラム内容】

日程	プログラム内容	時間	到達目標	講師
7/23(月)	本日の流れ	13:00- 13:05		原木 万紀子
	学生とのコミュニケーションに求められるスキル	13:05~ 14:40	<ul style="list-style-type: none"> ・聴き手の姿勢や態度が話し手の話す意欲に影響することに気付く。 ・話し手の話す意欲を高める技術を身につける。 ・自分の気持ちも相手の気持ちも大切にしたい指示、指導ができる。 	藤本 学
	大学における授業方法	14:50~ 16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・大学における教授法の体系的な知識と技能を修得する。 ・アクティブラーニングの活用方法を習得する。 	薄井 道正
	授業設計と模擬授業の実施（マイクロティーチング）	17:00~ 19:00	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プランをデザインできる。 ・授業プランに基づいて模擬授業を実施。 ・模擬授業を評価する。 	山岡 憲史
	本日のまとめ	19:00~ 19:05		原木 万紀子
7/25(水)	本日の流れ	13:00- 13:05		原木 万紀子
	授業の到達目標の書き方	13:05~ 15:05	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムや授業の設計において、学習成果を明確にし、適切な到達目標を設定することができる。 	沖 裕貴

			・高等教育に求められる内部質保証を設定することができる。	
	成績評価の方法	15:15～ 17:15	・授業の到達目標に沿って適切な評価方法（評価手段）を選択し、その評価指標と評価方法を設定できる（思考・判断・評価）。 ・自らの授業の成績評価に関して、学習者にフィードバックを心がける（関心・意欲・態度）。	沖 裕貴
	修了式（まとめ・ふりかえり）	17:15～ 17:40	全てのプログラムを受講したものに対して本セミナーの修了証を発行します。	原木 万紀子

過年度の受講者の声

<立命館大学 政策科学研究科 豊田 祐輔 先生（2012年度PFF受講者）>

Q.1. PFFを受講した理由・きっかけ

研究者として就職活動開始時期が近づいた際、TAなどとして授業支援は経験していましたが、教えることについて全く研修を受けたことがなく、大学で教える方法についてイメージがわからなかったときに、このセミナーを知り、基礎から学びたいと思ったためです。

Q.2. PFFでどのようなことを学びましたか。

教育活動に関わる予定であるものの、教育の経験がない者として自分が置かれている状況が理解できました。また、これまで漫然と知識を教えることしか考えていなかったものの、どのように教える内容をまとめ、伝え、評価するべきかについての方法を学びました。さらに、ワークショップに参加して、これまでただ読んでいただけの他の先生のシラバスを批判的に検討することで、教える際に重要な視点を得ることができました。もっとも重要だと思うのは、実際に授業設計の体験をし、フィードバックをいただくことで、自分の教え方の弱点を理解できたことです。

Q.3. PFFを受講したことが、就職活動の際に、どの様に役立ちましたか。

このセミナーでは、授業の導入部分を模擬授業として設計することで、授業の流れをまとめることができました。まずは授業の流れを定めて内容を肉付けしていくことになるので、90分の授業もそうですが、就職の際の短時間の模擬講義でも内容を短時間にまとめて伝える授業設計は大変良い経験になりました。

Q.4. 今後、PFFを受講しようとしている院生にアドバイスがあればお願いします。

PFFは短期間ではありますが、特に教えることについて本格的に学んだことがない方が基礎力をつけるセミナーであります。様々な場面で必要になるのが基礎力ですので、自分の将来像を想像しながら取り組んでほしいです。